

## 愛知県ワクチン接種推進本部第3回会議次第

日時：2021年3月24日（水）

午後1時～午後2時

場所：愛知県庁本庁舎 6階 正庁

### 1 挨拶

### 2 議題

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種スケジュールについて

(2) ワクチンの取扱いについて

(3) ワクチンに関する情報発信について

(4) 「第2回 県・市町村新型コロナウイルスワクチン接種連絡協議会」の結果概要について

(5) ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制について

#### 【配付資料】

資料1 優先接種のスケジュール（医療従事者向け・高齢者向け）

資料2 ファイザーワクチンの取扱い（「新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について」令和3年3月12日開催自治体説明会④（厚生労働省健康局健康課予防接種室）資料抜粋）

資料3 県のワクチンに関する情報発信

資料4 第2回 県・市町村新型コロナウイルスワクチン接種連絡協議会結果概要

資料5 ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制について

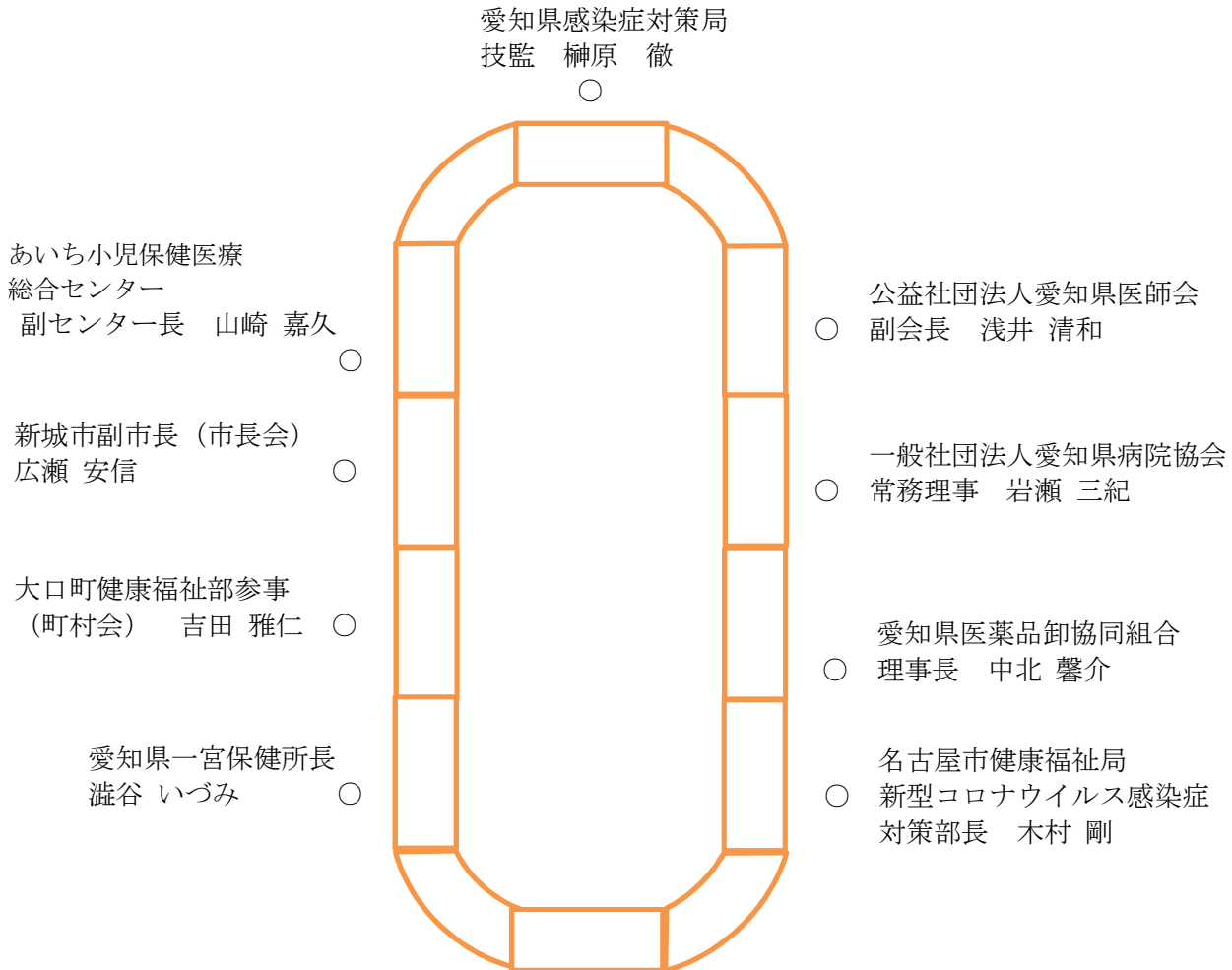
愛知県ワクチン接種推進本部  
第3回会議出席者名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属等
あさい きよかず 浅井 清和	公益社団法人 愛知県医師会 副会長
いわせ みつり 岩瀬 三紀	一般社団法人 愛知県病院協会 常務理事
きむら つよし 木村 剛	名古屋市健康福祉局 新型コロナウイルス感染症対策部長
さかきばら とおる 榊原 徹 【本部長】	感染症対策局 技監
しぶや いづみ 澁谷 いづみ	一宮保健所長
なかきた けいすけ 中北 馨介	愛知県医薬品卸協同組合 理事長
ひろせ やすのぶ 広瀬 安信	新城市副市長：市長会
やまざき よしひさ 山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター 副センター長
よしだ まさひと 吉田 雅仁	大口町健康福祉部参事：町村会

日時：2021年3月24日（水）  
午後1時～午後2時  
場所：愛知県庁本庁舎 6階 正庁

## 愛知県ワクチン接種推進本部第3回会議 配席図



### 事務局

- 愛知県感染症対策局  
局長 岡本 範重
- 愛知県  
顧問 松本 一年
- 愛知県感染症対策局  
感染症対策調整監 松井 直樹
- 愛知県感染症対策局感染症対策課  
課長 井口 能秀
- 愛知県感染症対策局感染症対策課  
医療体制整備室  
室長 今井 勇治
- 愛知県感染症対策局感染症対策課  
ワクチン接種体制整備室  
室長 大河内 千明
- 愛知県感染症対策局感染症対策課  
ワクチン接種体制整備室  
担当課長 早川 直宏
- 愛知県感染症対策局感染症対策課  
ワクチン接種体制整備室

出入口

## 医療従事者等向け優先接種のスケジュール

時 期		国からのワクチン供給量 (※)		接 種 対 象				
3 月	3/1 週	第 1 弾	①25 箱 (24,375 回分)	1	患者受入医療機関 74 病院の医療従事者等 約 76,800 人 (第 3 弾分を一部充当)	2月19日から 名古屋医療センター始め4病院で 医療従事者等向け先行接種を開始 5箱(5,850回分)※2回接種分合計		
	3/8 週		②25 箱 (24,375 回分)					
	3/15 週							
	3/22 週	第 2 弾	①10 箱 (9,750 回分)				2	高齢者接種を先行開始する17市で 接種を担当する医療従事者等 600人
	3/29 週		②10 箱 (9,750 回分)					
4 月	4/5 週			3	◆ 各地域の病院・診療所の医療従事者等 約 107,700 人 * ①以外の病院・診療所の医療従事者等 「診療・検査医療機関」(1,564 施設)の医療従事者等から優先して接種を実施  ◆ その他の医療従事者等 約 51,800 人 * 歯科診療所の従事者 * 薬局の従事者 * 訪問看護ステーションの従事者 * 救急隊員・自衛隊員 * 保健所職員 など			
	4/12 週	第 3 弾	①74 箱 (86,580 回分) ※これ以降 6 回接種可能な 注射器を使用					
	4/19 週		②74 箱 (86,580 回分)					
	4/26 週							
5 月	5/3 週	第 4 弾	県内すべての 医療従事者等(約 27 万人) を接種完了できる量	4	残る医療従事者等 (新たに医療従事者等になる者等)			
	5/10 週							

※いずれも 3 週間後に 2 回目接種分として同量が供給される。

## 高齢者向け優先接種のスケジュール

時 期		国からのワクチン供給量		接 種 対 象
4 月	4/5 週	第 1 弾	2 箱 (1,950 回分) (975 人×2 回)	名古屋市に 2 箱
	4/12 週	第 2 弾	10 箱 (9,750 回分) (4,875 人×2 回)	名古屋市に 2 箱 豊田市、岡崎市、一宮市、豊橋市、春日井市、安城市、 豊川市、西尾市に 各 1 箱
	4/19 週	第 3 弾	10 箱 (9,750 回分) (4,875 人×2 回)	名古屋市に 2 箱 刈谷市、小牧市、稲沢市、瀬戸市、半田市、東海市、 江南市、大府市に 各 1 箱
	4/26 週	第 4 弾	54 箱 (52,650 回分) (26,325 人×2 回)	全市町村に各 1 箱
5 月	5/3 週	市町村の需要に応じて国から供給 (5 月 9 日までに全国で計 4,000 箱程度)		
	5/10 週 以降	市町村の需要に応じて国から供給 (順次)		
6 月	6 月末 までに	すべての高齢者 (全国約 3,600 万人・愛知県約 190 万人) が 2 回接種可能な量について国から供給		

4 月 19 日の週までに供給される 22 箱のワクチンについて、人口の多い市町村から順に、17 の市に配分

- ◆人口が最も多い名古屋市には、3 週にわたってワクチンを配分
- ◆早い段階から、なるべく多くの市町村に実際に接種を経験してもらうため、16 市に 1 箱ずつのワクチンを配分

## ファイザーワクチンの取扱い

（「新型コロナウイルスワクチンの接種体制確保について」 令和3年3月12日開催自治体説明会④  
（厚生労働省健康局健康課予防接種室）資料 抜粋）

## 新型コロナワクチンの特性（現時点での想定）

※アストラゼネカ社、武田/モデルナ社については、薬事承認前であり、全て予定の情報です。

	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田／モデルナ社
接種回数	2回(21日間隔)	2回(28日間隔)	2回(28日間隔)
保管温度	-90℃～-60℃	2～8℃	-20℃±5℃
バイアル開封後の保存条件 (温度、保存可能な期間)	(冷蔵庫で解凍する場合は、解凍及び希釈を5日以内に行う) (室温で解凍する場合は、解凍及び希釈を2時間以内に行う) 希釈後、室温で6時間	(一度針をさしたものの以降) 室温で6時間 2～8℃で48時間 希釈不要	(一度針をさしたものの以降) 2～25℃で6時間(解凍後の再凍結は不可) 希釈不要
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関では、ドライアイス又は超低温冷凍庫で保管</li> <li>※医療機関でのドライアイス保管は10日程度が限度</li> <li>※最大5日間、追加で冷蔵保管可(2～8℃)</li> <li>・<u>-25～-15℃に移し、-25～-15℃で最長14日間保存することができる。なお、1回に限り、再度-90～-60℃に戻し保存することができる。いずれの場合も有効期間内に使用すること。</u></li> <li>・<u>医療従事者向け優先接種の希釈用の針・シリンジについては、国から配布する。高齢者向け優先接種の希釈用針・シリンジについては検討中。</u></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機関では、冷凍庫で保管(-20℃±5℃)</li> </ul>

# 新型コロナワクチンの接種運営の留意事項（現時点での想定）

※アストラゼネカ社、武田/モデルナ社については、薬事承認前であり、全て予定の情報です。

	ファイザー社	アストラゼネカ社	武田/モデルナ社
1バイアルの単位	一般的な針シリンジを用いると 5回分/バイアル ※医療従事者向け優先接種の4 月12日・19日の週に配送する第 1回接種分以降では6回採取可 能な針・シリンジを配布予定	10回分/バイアル	10回分/バイアル
最小流通単位 （一度に接種会場に配送され る最小の数量）	195バイアル （一般的な針・シリンジを用いると 975回接種分。 <u>特殊な針・シリンジ                      を用いると1,170回接種分。</u> ）	10バイアル（100回接種分） ※供給当初300万バイアル分 2バイアル（20回接種分） ※残り900万バイアル分	10バイアル （100回接種分）



# ファイザーのワクチンの配送・保管温度の関係

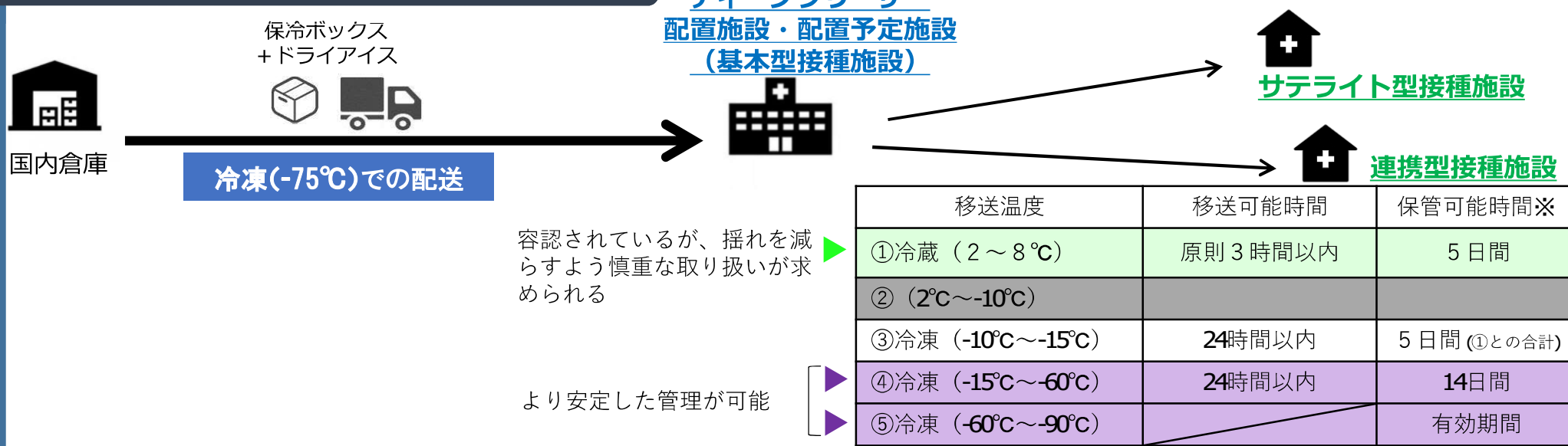
## (基本型接種施設)

DFが配置され、ファイザー社から直接、冷凍ワクチンの配送を受け、保管が可能な施設

## (連携型/サテライト型接種施設)

基本型接種施設から、冷凍又は冷蔵でワクチンを小分け移送を受け、ワクチンの保管可能時間内に接種する施設

## 現在、示している移送と保管の取扱い



## -20℃保管の意義と考え方

- 右表のとおり、温度帯と既存の指示との整理が必要
- 今回添付文書改訂された-20℃の扱いについては、
  - これまで冷蔵 (①) での5日間であった連携型/サテライト型接種施設での保管期間が、-20℃保管が可能な場合は14日に延長されることにより、接種期間の弾力化が可能。
  - 非常時 (停電又は故障) に、基本型施設に-20℃のDFを設置する等 (-20℃フリーザーや蓄冷材等) により廃棄を防ぐ。

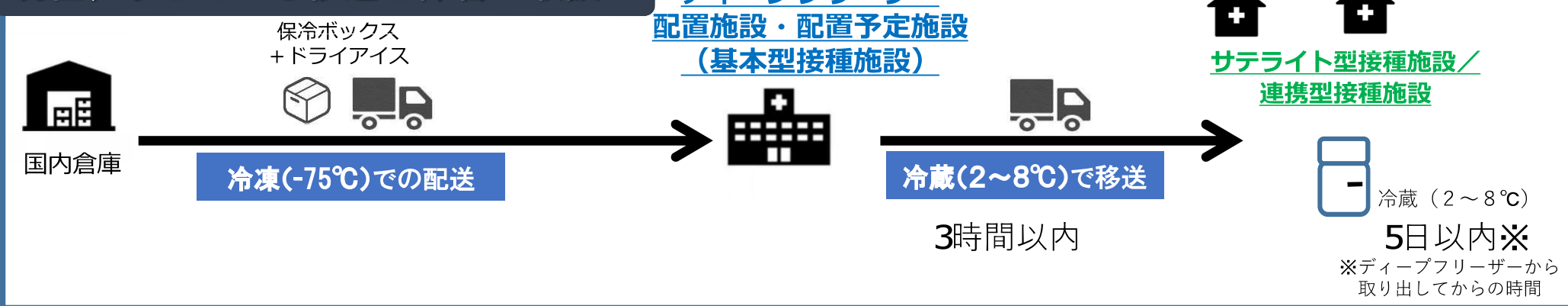
移送温度	移送可能時間	保管可能時間※
③冷凍 (-10℃~-59℃)	24時間以内	
-10℃~-15℃		5日間
-15℃~-25℃		14日間
-25℃~-60℃		14日間

※保管可能時間はディープフリーザーから取り出してからの時間

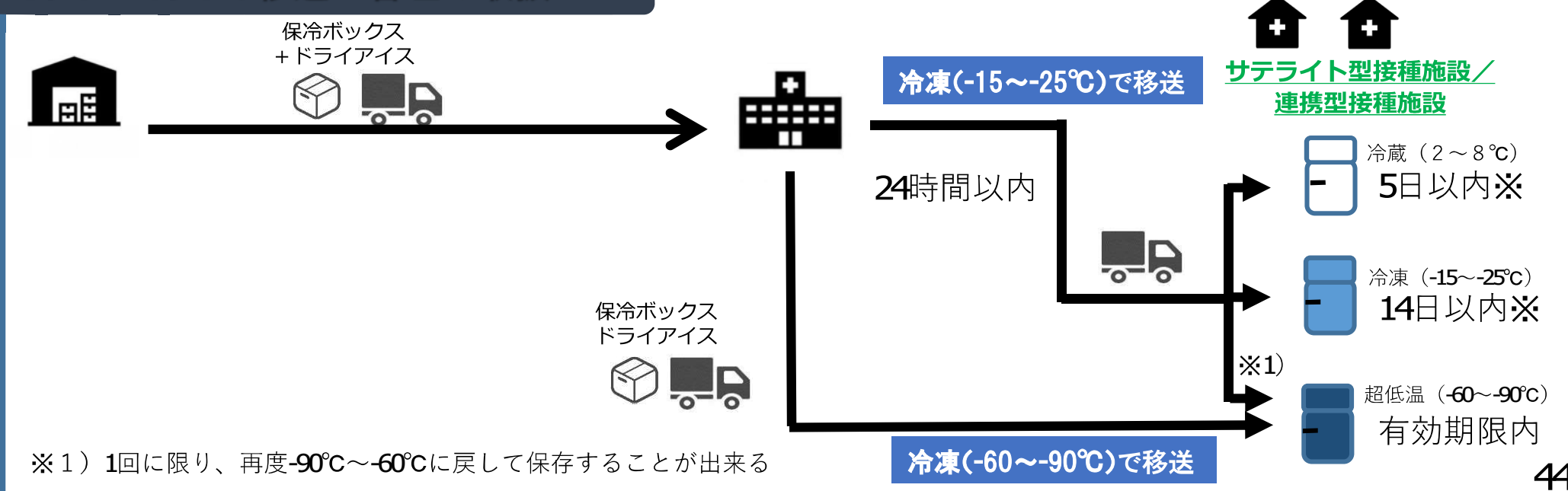
# ファイザーのワクチンの配送・保管温度の関係

(基本型接種施設) DFが配置され、ファイザー社から直接、冷凍ワクチンの配送を受け、保管が可能な施設  
 (連携型/サテライト型接種施設) 基本型接種施設から、冷凍・冷蔵でワクチンの小分け移送を受け、保管可能時間内に接種する施設

## 現在、示している移送と保管の取扱い



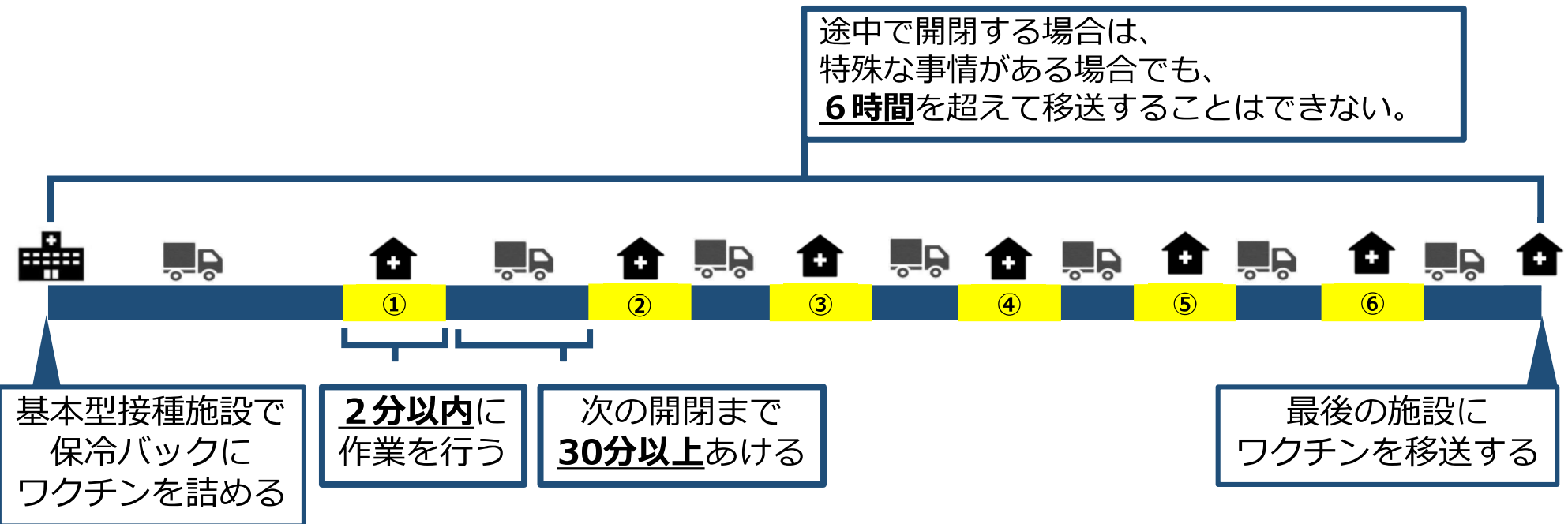
## -10℃~-60℃の移送・管理の取扱い



## 厚生労働省が提供する保冷バックを冷蔵移送の途中で開閉する場合の留意点

厚生労働省が提供する保冷バックを用いて、2～8℃でファイザー社のワクチンを移送する場合に、保冷バックを途中で開閉するときの、適切な温度を維持する観点からの留意点は、以下のとおり。

- 移送途中に開閉する場合は、**1回2分以内**に操作を完了する。
- 次の開閉までは**30分以上**の間隔をあける。
- 途中の開閉は1回の移送で**6回まで**可能である。
- 途中で開閉を行う場合は、特殊な事情がある場合でも、保冷バックにワクチンを詰めた時点から**6時間**を超えて移送することはできない。



## 県のワクチンに関する情報発信

### 1 愛知県WEBページへの掲載

今年3月1日から、「愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト」の中に、ワクチン関連情報を発信する専用ページを設け、接種の概要や、ワクチンの効果と副反応、コールセンターなどについて情報発信している。

<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/wakuchinsessyu.html>

### 2 SNSによる情報発信

昨年3月から新型コロナウイルス関連の情報提供を行っている、無料通信アプリ「LINE」を活用し、そのアカウントにおいて、ワクチン接種について情報発信している。

愛知県－LINE公式アカウント「新型コロナ対策パーソナルサポート」



### 3 コールセンターの運営

看護師等による新型コロナウイルス感染症の電話相談体制を4月から拡充し、ワクチン接種に関する相談に、よりきめ細かく対応していく。

愛知県新型コロナウイルス感染症健康相談窓口

- ・毎日 午前9時から午後5時30分まで  
052-954-6272
- ・平日 午後5時30分から翌午前9時まで 土曜日、日曜日、祝日 24時間  
052-856-0315 (2021年3月31日まで)  
052-526-5887 (2021年4月1日から)

### 4 チラシの配布

4月上旬から約30万部を配布。(4月上旬に15万部。高齢者接種が終わって一般の住民接種が始まる時期を目途に、新たに15万部程度を作成。)

配布先 : 高齢者施設、地域包括支援センター、市町村等

主な内容 : ワクチン接種により得られる効果や副反応のリスクに関する情報  
コールセンターの案内

**第 2 回 県・市町村新型コロナウイルスワクチン接種連絡協議会 結果概要**

愛知県及び保健所、市町村が相互に連絡、協議し、新型コロナワクチン接種を円滑かつ確実に実施することを目的として、「県・市町村新型コロナウイルスワクチン接種連絡協議会」を設置しております。その第 2 回会議を 3 月 2 日（火）に下記のとおり開催いたしました。

**1 日時**

3 月 2 日（火） 午後 2 時から午後 3 時まで

**2 開催方法**

Web 会議形式（愛知県災害対策本部室（愛知県自治センター 6 階））

**3 出席者**

感染症対策課ワクチン接種体制整備室職員、愛知県保健所職員（12 保健所）  
各市町村職員（54 市町村）

**4 内容**

（1）ワクチン接種に関する情報提供等について（説明：ワクチン接種体制整備室）

- ・医療従事者等の接種体制の確保に係る現状について
- ・新型コロナワクチンの相談体制について
- ・市町村におけるワクチン住民接種への準備状況について
- ・市町村からの問合せメールアドレスについて
- ・企業からのワクチン接種に係る協力内容紹介について

（2）ワクチン接種体制の準備状況について（説明：豊橋市、半田市、弥富市）

別紙のとおり

## 議事概要（R3.3.2 県・市町村新型コロナウイルスワクチン接種連絡協議会）

### ○ワクチン接種体制の準備状況について（3市から説明）

#### 【豊橋市】

- ・医師会との協力により、市内約150箇所個別接種を実施する予定。
- ・一般接種を始める際には、集団接種を組み合わせる方向で検討。保健所で月数回ほど日曜、祝日接種するとともに、大病院に声かけ中。
- ・ワクチンの配送については、医師会施設を基本型接種施設に位置づけワクチンの配送・在庫管理や予診票の回収等の業務を委託する。
- ・接種記録については、予診票回収後に市で一括取り込みできないか検討中。
- ・コールセンターは3月1日から4席体制で運用開始。ゆくゆくは8席に拡充し、英語とポルトガル語にも対応する予定。
- ・クーポン券の発送については、近隣市町村と足並みを揃えていきたい。

#### 【半田市】

- ・45箇所の個別接種と、4箇所の集団接種を組み合わせ検討しているが、集団接種で開場したい時間帯の医療従事者をどう確保するかが課題。
- ・詳細なスケジュールは、ワクチンの供給スケジュールが判明し次第検討。
- ・一般接種に向けては、平日夜間や休日の体制をどうするか別途検討。
- ・2月3日にシミュレーションを実施。列の滞留をいかに防ぐかや、車椅子や要介護者にどう対応するかなどが課題。

#### 【弥富市】

- ・集団接種をメインに据え、個別接種も合せて実施する方向で検討。
- ・医療機関の負担を軽減するため、接種予約は市コールセンターで一括して受けつけるとともに、基本型接種機関（保健センター）からのワクチン配送は市職員が行う。
- ・2月5日にシミュレーションを実施。各行程の所要時間がどのくらいか、滞留の原因はなにかという課題を洗い出したため、今後対応を検討。

## ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制について

愛知県では、新型コロナワクチン接種後、副反応を疑う症状を示した方への対応として、かかりつけ医など身近な医療機関では対応が困難な副反応の症状に対し、接種を受けた方が専門的な医療機関を円滑に受診できる体制づくりを進めてきました。

このたび、4月中旬に始まる高齢者の皆様への新型コロナワクチン接種に先立ち、下記のとおり、県内10か所の専門的な医療機関の協力を得て、運用を開始しますので、お知らせします。

### 記

#### 1 協力を得る専門的な医療機関

県内10病院

※名古屋市内4病院・尾張地域3病院・西三河地域2病院・東三河地域1病院

#### 2 副反応等に対応する医療体制について

- ① 新型コロナワクチン接種後に副反応を疑う症状が出た方には、まず、かかりつけ医など身近な医療機関を受診していただきます。  
(県の電話相談窓口等にご相談があれば、看護師等が状況をお伺いし、必要に応じて、かかりつけ医等の受診をご案内いたします。)
- ② かかりつけ医等で、専門的な対応が必要と判断された場合、診療した医師が専門的な医療機関を紹介します。
- ③ 紹介先の専門的な医療機関において、診療等を受けていただきます。

【ワクチン接種後の副反応等に対応する医療体制】

